



深川交通安全情報

ストップ・ザ・交通事故

令和7年12月1日
深川警察署
交通課
R7年第18号

全席シートベルトの 確実な着用を



令和2年～令和6年までの5年間で、北海道内において発生した交通事故死者のうち、四輪乗車中の死者のシートベルト着用・非着用状況、非着用死者の生存可能性状況は、下のとおりになります。



※ 過去5年間の交通事故死者数 614名中

運転者

	人数
シートベルト対象者	230人
シートベルト非着用	92人
生存可能死者	52人

→非着用者の**56.5%**が生存可能性あり

助手席

	人数
シートベルト対象者	28人
シートベルト非着用	7人
生存可能死者	4人

→非着用者の**57.1%**が生存可能性あり

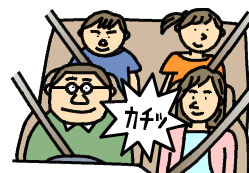
後部席ほか

	人数
シートベルト対象者	37人
シートベルト非着用	24人
生存可能死者	19人

→非着用者の**79.2%**が生存可能性あり



『生存可能性がある』とは、当事車両の破損程度から生存空間が認められ、シートベルトをしていたならば生存していたと推測されることをいいます。



シートベルトで、**年間10人を超える命**が救えた可能性があります。
車に乗ったら同乗者全員が、まず最初にシートベルト着用を。

～めざせ 安全で安心な北海道～